

工 事 番 号							
設計年度	令和 6 年度	本郷第4処理分区污水管新設工事 (6-2)		仕様書			
施工月日	令和 年 月 日	公共下水道事業					
施工方法	請 負	三原市本郷南四丁目		<b>仕 様 書</b>			
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
路線延長 (污水単独) L=82.5m 管体延長 管渠工 (開削) φ150 L=81.4m							

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷南四丁目 公共下水道事業 本郷第4処理分区污水管新設工事（6-2）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書 令和6年8月 広島版  
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
  - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
  - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

### 第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

### 第4節 検査

土木工事共通仕様書（令和6年8月広島版）『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

### 第5節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

### 第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

## 第7節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第8節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工 程

#### 1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管、ガス管、NTT ケーブルなどの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

### 第2節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

### 第3節 公害対策

#### 1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲	別途協議による。

#### 第4節 安全対策

##### 1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は、2（人／日）を見込んでいる。

#### 第5節 工事用道路

##### 1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

#### 第6節 建設副産物

##### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント（三原市沼田東町納所409）

なお、工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

##### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30

日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

## 第8節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

## 第9節 公共ます

### 1 公共ます蓋

公共ますに使用する蓋は、塩ビ製又は鋳鉄製（ともにデザイン入り）とする。

なお、車庫等輪荷重のかかる恐れのある箇所については、原則として、鋳鉄製蓋を使用するものとする。

### 2 公共ますの設置について

本工事の平面図に記入されている公共ますの高さは、使用材料の高さを示している。これは、あくまでも設計時における標準高さであり、実際に設置する場合は、地権者等と協議し、その位置及び高さを決定するものとする。

### 3 公共ます等設置申請書

地権者等との協議により、公共ますの設置位置等が決定した場合、受注者が責任をもって「公共ます等設置申請書」を預かるものとする。

## 第10節 工事着手時期

工事着手の時期については、関連工事（土地区画整理事業等）との調整により令和6年12月頃を予定している。

## 第11節 その他

### 1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

### 第3章 設計金額

#### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和6年8月広島版）『第1編 1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

#### 第4章 第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

#### 第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- |             |   |
|-------------|---|
| （1）原因調査     | 監督員と協力して行なうものとする。                             |
| （2）補償交渉     | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。                         |
| （3）応急処置     | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| （4）補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。   |

#### 第6節 施工合理化調査等

当該工事において受注者は、施工合理化調査等の対象なった場合、資料作成等に協力しなければならない。

#### 第7章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費（汚水単独）				
管路施設(開削工法)	汚水単独	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻	(流用土)	式	1	レベル4
管路埋戻	(再生砂)	式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	VU 150	m	81.4	レベル4
埋設標識テープ		m	81.4	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	(再生砂)	m	81.4	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3
開削水替		式	1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立0号マンホール		箇所	2	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
管内調査費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				

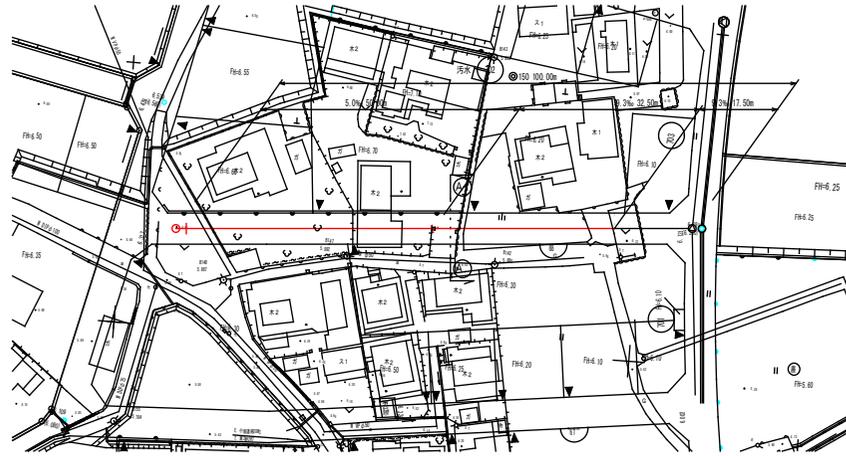


平面図

5:1/200

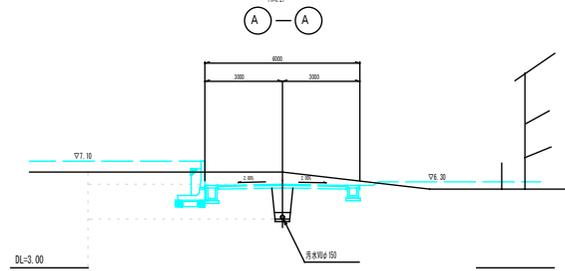
凡例

	汚水渠
	汚水貯留
	計画汚水管
	現況汚水管
	埋設地下ケーブル
	検査口
	縦立検査口
	縦立埋設口
	縦立検査口
	小型埋設マンホール
	汚水貯留・貯留管



縦断面

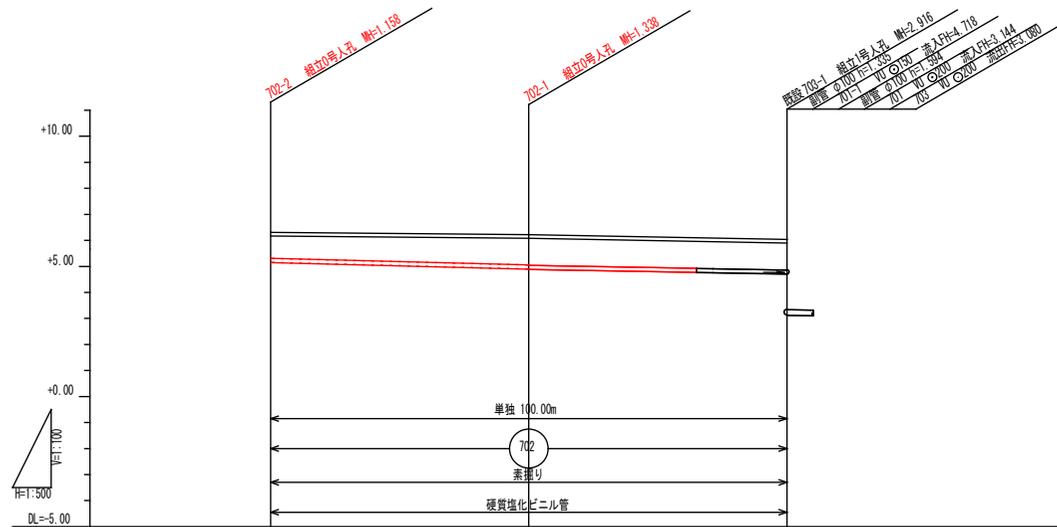
5:1/200



縦断面図

5:1/200

5:1/200



種別	管番号	管径	工法	延長
汚水	702	φ150	開削・単独	82.50
計				82.50

管径 mm	V1φ150		V1φ150		VUφ150	
勾配 %	5.0	9.3	9.3	17.50		
区間距離 m	50.00	32.50	17.50			
計画地盤高 m						
現況地盤高 m						
土被り m						
管底高 m						
掘削深 m						
追加距離 m						
測点	702-2	702-1	702-1	702-1		

令和6年度 公共下水道事業 (汚水)	
工事名	本郷第4処理分区汚水管新設工事 (6-2)
工事場所	三原市 本郷南四丁目
図面番号	1/1 縮尺 図示
平面図・縦断面図・横断面図	
三原市	

※この図面は50%に縮尺しています

# — 参 考 資 料 —

令和 6 年度

本郷第4処理分区污水管新設工事(6-2)

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-06.10.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 31 下水道工事(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費(法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等)が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費（汚水単独） 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費（汚水単独）					X3000
管路施設(開削工法) 汚水単独					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
管路埋戻 (流用土)	72	m3			単第0 -0001 表 Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
管路埋戻 (再生砂)	56	m3			単第0 -0003 表 Y1101010102 レベル4
	1	式			

# 本工事費（汚水単独） 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	11	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(10t積級,機械積込み)					SG1E0003001 00
	10	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費 砂質土,礫質土					F0000000001 00
	10	m3			
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 VU 150					Y1101010203レベル4
	81.4	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 150mm					SG1D0006001 00
	81.4	m			単第0 -0008 表
マンホール用可とう継手 VU 150					F0020 00
	3	組			

# 本工事費（汚水単独） 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋設標識テープ					Y1101010216レベル4
	81.4	m			
埋設標識テープ 150×50 2倍					F0001 00
	81.4	m			
管基礎工					Y11010103 レベル3
	1	式			
砂基礎 (再生砂)					Y1101010301レベル4
	81.4	m			
砂基礎工(機械施工)					SG1D0019002 00
	5	m3			単第0 -0009 表
開削水替工					Y11010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1101010901レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	4	日			単第0 -0010 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	1	現場			単第0 -0012 表

# 本工事費（汚水単独） 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y11010202 レベル3
	1	式			
組立0号マンホール					Y1101020201 レベル4
	2	箇所			
汚水用人孔鉄蓋（デザイン入・ロック式） 600用 T-25					F0000000302 00
	2	組			
変形防止調整金具					F0000000005 00
	2	箇所			
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450					TH003036 00
	1	個			
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×600					TH003038 00
	1	個			
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×600					TH003052 00
	2	個			
円形0号(内径750)I種 底版					TH003062 00
	2	個			

# 本工事費（汚水単独） 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール付属品 調整リング 600×150	2	個			TH003102 00
無収縮モルタル 25kg袋	2	袋			TH003190 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径150用	1	箇所			TH003128 00
底部工(組立式)(組立0号マンホール)	2	箇所			SG1D0052001 00 単第0 -0013 表
組立0号マンホール 0号(内径750mm),楕円 深さ2m以下	2	箇所			SG1D0052002 00 単第0 -0017 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4

# 本工事費（汚水単独） 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	10	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
管内調査費					YZZ06001001 レベル4
	1	式			
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む					V0100 00
	81.4	m			単第0 -0018 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

# 本工事費（汚水単独） 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					





# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0011

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.45m3 C=6 材料別途			B=2		土留めを伴う掘削の場合

# 施工単価表

タンパ締固め

SPK24040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.24% 労務構成比: 97.05% 材料構成比: 1.71% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,564.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.24%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.22%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.71%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0013

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.45m3 C=2 再生砂			B=2 E=126.3		土留めを伴う掘削の場合 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)



# 施工単価表

ダンプトラック運転  
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0007 表

1

日 当り

10t積級

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	58.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 C=1 E=1.29	011_オンロード ディーゼル 運転労務数量(人/日) 機械損料数量(供用日/日)		B=5 D=58 F=1	10t積級 燃料消費量(L/日) 路面状況:良好	













# 施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

モルタル練  
高炉

SPK24040154

単第0 -0016 表

1 m3 当り  
標準単価： 94,888.00000

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		















# 施工単価表

報告書作成工

V0310

単第0 -0024 表

頁0 -0033

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業) 管理技師	1.0	人			
測量技師 (外業) 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補 (外業) 管路調査助手	1.0	人			
D V D	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
1m当り		m			
*** 単位当り ***	1	m			



[ 単独 ]

塩ビ管管布設工

No.1

( ) 工事

管径φ=	150	mm
現況表層厚=		m
現況路盤厚=		m

道路幅員=	6.00	m
掘削幅=	0.68	m

(上下路盤)

復旧表層厚=		m
復旧路盤厚=		m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔延長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。 掘削土量			管延長 m	ゴ片ム受輪け受直口管(SRA) m	ブレード直ンエ管(P E) m	マコンとホウ継ル手 個	備考	
					人力 m3	B H 0.13m3	B H 0.28m3						B H 0.45m3
702	702-1	32.50	0.38	1.40			30.9	32.12	32.00	0.12	1		
702	702-2	50.00	0.38	1.21			41.1	49.24	48.00	1.24	2		
計		82.50					72.0	81.36	80.00	1.36	3		
本管		ブレーション直管 = 1.36 ゴム輪受けロ片受直管 80.00 ÷ 4.00m/本 = 20本 80.00											
土	掘削	人力掘削工	人力				m3	合計					
		機械掘削工	バックホ	0.13m3			m3						
		機械掘削工	バックホ	0.28m3			m3						
		機械掘削工	バックホ	0.45m3			72.0	m3	72.0				
埋戻	発生土	V = {(0.81 + 0.62) × 0.945 ÷ 2} × 82.50						m3	埋戻高	1.31 - (0.00 + 0.00 + 0.365) = 0.945			
		V = {(0.265 × 0.60) - (π/4 × 0.165 <sup>2</sup> )} × 81.36						m3	平均掘削幅	(0.62 + 0.81) ÷ 2 = 0.72			
		V = 0.56 × 0.10 × 81.36						m3	平均掘削幅	(0.57 + 0.62) ÷ 2 = 0.60			
工	残土	V = 72.0 - (55.7 ÷ 0.9)						m3	平均掘削幅	(0.55 + 0.57) ÷ 2 = 0.56			
									路盤下	上側掘削幅			
									管廻り埋戻高=	0.365 m		0.81	
									管外径=	0.165 m		0.62	
									砂埋戻し高さ=	0.265 m			
									砂基礎高さ=	0.100 m		0.57	





仏通寺踏切

# 位置図

コンビニエンスストア

ドラッグストア

ドラッグストア

スーパーマーケット

郵便局

工事箇所

国道2号

